



人をつなぎ 未来をつなぐ  
明石のコミュニティ・スクール

# コミコミスクスク

明石市教育委員会事務局学校教育課

1 学期も残りわずかになってきました。学期末を控え、各学校園ではあわただしい毎日を過ごされているのではと思います。そんな中、小学校において今年度から導入されるコミュニティ・スクールへの第一歩となる学校運営協議会が現在半数の学校に設置され第1回学校運営協議会が開催されています。先日大久保小学校で開かれた第1回学校運営協議会の様子が届きましたので、紹介させていただきます。

【報告：大久保小学校学校運営協議会】

7月2日（火）に大久保小学校学校運営協議会が開かれました。まず、学校長より委員の皆様へ、学校運営協議会の趣旨や、学校経営方針の説明が行われました。説明を聴かれた委員の方々からは、「大久保地区の教材や人材を、いかに学校教育活動に活用していくかが重要になるのでは。」や、「大久保地区には、11もの神社仏閣があります。子どもたちは、歴史と伝統のあるこのまちを大切にしてほしい。」という意見や願いが語られました。また、全校児童1300名、教職員70名を超えるマンモス校である現状に関わる次のような意見もありました。「子どもたちが多いのは、とても活気があること。若い先生方が多いのも強みにして教育活動を推進してほしい。」

次に学校のハード面を整備する状況を知っていただく意味で、学校長から南校舎2・3階トイレが新しくなることについて細かな説明がありました。委員の方からは、「今の子どもたちは、洋式トイレに慣れている。整備が進むのはいいこと。」というコメントがありました。



さらに、会のしめくくりには、委員の皆様へ、給食を賞味いただきました。この日は半夏生。給食には明石名物のたこが入ったカレーが出されました。委員の方は、「明石名物を取り入れて給食メニューは工夫されているんですね。とてもおいしいです。」と、感想を話されていました。今後の大久保小学校学校運営協議会は、2・3学期に開催されるように計画しています。オープンスクールや音楽会等の学校行事にも委員の方々に来校していただき、生の子どもの姿から意見を収集し、取組を進めていく予定です。「笑顔あふれる学校」の教育目標実現に向けて、意義のある第1回目の開催となりました。

## 学校評議員会からコミュニティ・スクールへ

現在開催された学校運営協議会はおおむねこのような流れですすめられているのではと思います。

コミュニティ・スクールは“学校を核にしたまちづくり”目指し、キーワードとして“熟議”と“協働”と“マネジメント”があげられます。学校・地域・保護者であるべき子どもの姿、あるべき地域の姿を共有し、それに向かって熟議しみんなで具体化し、地域で持続可能なカリキュラムを創っていくのがコミュニティ・スクールだと考えています。これからどう熟議を深めていくかがこれからの課題です。

意外と学校運営協議会が終わってからの雑談の中で面白い話がでたということを耳にします。

⇒「トイレそうじが十分でない」「家でトイレ掃除なんかさせないし」「先生もずっと見てられないし」

「それなら子どもたちと一緒に掃除ができればいいかも」

⇒「サロンという高齢者向けのお食事会に小学生がきてくれたらお話し相手になるかな」「安全面で小学生の移動はどうなんだろう」「それなら給食試食会みたいな形でできないかな」

⇒「〇〇さんは校区の中でどこに食べられる実がなる樹があるかよく知っている」「今の子はあけびなんかとって食べたことないやろな」「親御さんもないのでは」「それなら実のなる樹巡りでもする」「地図におとして子どもに探検させてみては」

こうした話が熟議の入口ではと思っています。みんなで熟議した中で生まれてきた案を、実現に向けマネジメントしていくのが学校運営協議会の役割ではと思っています。（文責コミュニティ・スクールコーディネーター北本）